



—東地中海地域ニュース—

パレスチナ：PA 大統領選挙、及び PLC 選挙に関する PA 大統領令の発布（10月23日付 Wafa）

23日、パレスチナ公式通信社 Wafa は、アッバース大統領が主催するパレスチナ指導部の会合が開催されたことについて報じている。概要は以下の通りである。

1. パレスチナ指導部の会合

10月23日、アッバース大統領はパレスチナ指導部の会合を主宰し、PLO（パレスチナ解放機構）執行委員及びファタハ中央委員会メンバー、PLO を構成する諸党派の代表が出席した。同会合では、現在のパレスチナの政治情勢が協議され、翌24日に開催される PLO 中央評議会の成功に向けた調整が行われると共に、アッバース大統領が国民対話と和平プロセスに関する最新の展開について説明を行った。

2. 選挙日公示の大統領令（10月24日付け）

パレスチナ国家大統領兼 PLO 執行委員長兼 PA 大統領として、2003年の基本法及び同法改訂、並びに2007年の選挙法に基づき授与された権限に従い、公共の利益の為に下記を定める。

- (1) エルサレム、西岸及びガザ地区のパレスチナ人民は、2010年1月24日、大統領選挙並びに PLC（パレスチナ立法評議会）選挙（自由且つ直接選挙）を行う。
- (2) 中央選挙委員会及び関係する全ての当局は、本大統領令の施行を実現する。

3. ハマス側の反応（10月23日付アル・クドゥス紙他）

(1) ラドワーン・ハマス幹部

これは国民和解の為の努力への打撃であり、米国の圧力に屈し、外国と敵シオニストの計画に資するもので、（ガザ地区と西岸の）分断を確立するものである。

(2) バルフーム・ハマス報道官

アッバースは大統領の任期を既に終えているので、大統領令を出す権限を持っていない。本措置は非合法であり、違憲行為である。これは、エジプトの努力（注：国民和解仲介）に対する強烈な一撃であり、分断を確立する為のアッバースの確信的な試みであり、米国とイスラエルの指令に従ったもの。

(3) 在ガザ・ハマス指導部筋

ハマス指導部では、アッバースによる一方的な行為に対抗し、同じ2010年1月24日にガザ地区にて別の選挙を実施する可能性を検討している。